

2025 年 10 月 22 日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

盛岡駅改良工事における岩手県産木材の活用について

JR 東日本盛岡支社は、岩手県が推進する「木づかい宣言※¹」制度に基づき、事業者登録を行っていますが、このたび 2025 年春に発生した大船渡市の山林火災で生じた被災木を盛岡駅の柱装飾材として活用することが決まりましたのでお知らせします。

被災木の活用による災害からの復興支援に取り組むとともに、木の温もりが感じられる駅空間をご利用の皆さまに提供します。

1 木材活用計画の概要

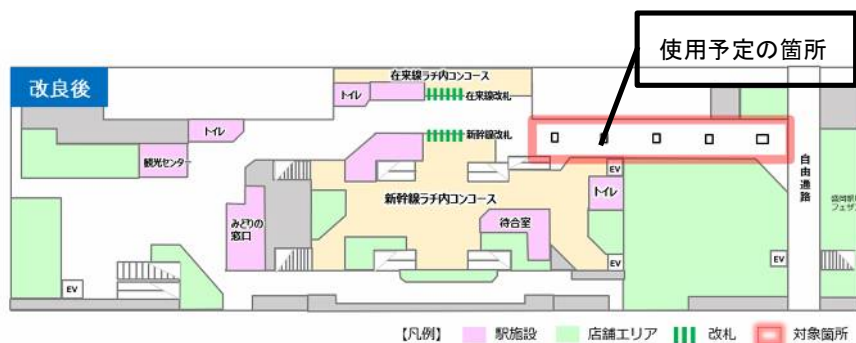
- ・装飾箇所：盛岡駅 2 階 北コンコース
- ・使用木材：大船渡市山林火災被災木及び、
その他岩手県産木材
- ・活用方法：被災木のうち上部の健全な部分を使用
- ・装飾イメージ：柱 5 本を県産材で装飾し、銘板により被災木の活用であることを、駅をご利用される皆さまにお知らせ



【被災木の活用（イメージ）】

2 完成時期

盛岡駅改良工事※²の工程に合わせ、2026 年度中の完成を予定しております。



盛岡駅 2 階



イメージパース

※デザインは変更する場合があります

※¹ 岩手県が推進する「木づかい宣言」とは、岩手県産木材を積極的に使うことを表明した民間事業者を登録・支援する制度です。森林資源の循環利用や地球温暖化防止、SDGs の達成に貢献することを目的としています。

※² 盛岡改良工事【プレスリリース】 https://www.jreast.co.jp/press/2024/morioka/20241023_mr01.pdf

JR 東日本グループでは「ゼロカーボン・チャレンジ 2050」達成に向けた取り組みとして、「エコステ」を推進しており、本計画は「エコステ」の一環として実施します。